

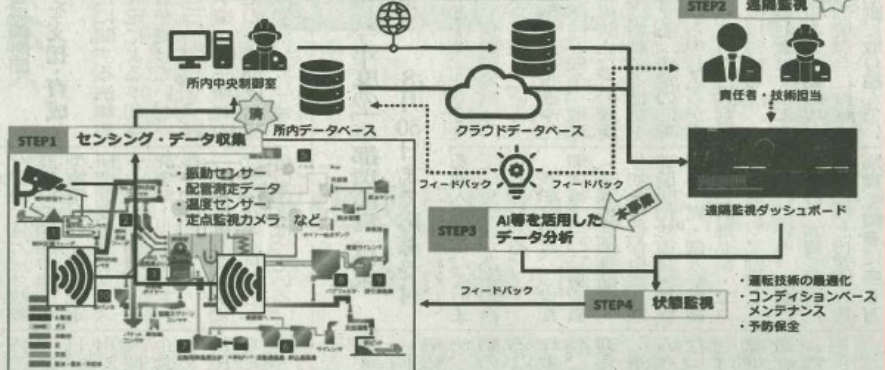
バイオマス発電の保安支援システム

バイオマスパワーテクノロジー

バイオマスパワーテクノロジー(三重県)に蓄積されたデータクノロジー(三重県)を、大規模言語モデル(LLM)で活用する保安支援システムを構築した。データ活用によるバイオマス発電における保安力向上を目的に開発した新システムで、同社の発電所で利用を開始する。

同社は、三重県松阪市に出力1990kW

【データ活用によるバイオマス発電における保安力向上の実施プロセス】



の「バイオマスパワーテクノロジー」松阪市、北角強社長、(LLM)で活用する保安支援システムを構築した。データ活用によるバイオマス発電における保安力向上を目的に開発した新システムで、同社の発電所で利用を開始する。

同社は、三重県松阪市に出力1990kW

発生時に関連情報を素早く探し出すことにより、故障からの復旧を短時間で済ませることが必要となる。新システムでは、BPTIでは、BMemcoに蓄積したデータや過去のトラブルシューティングとLLMを組み合わせて、課題克服を支援する。大きく三つの機能があり、▽各プロセス値の検索性・保安記録検索機能▽ユーザーインターフェイス(UI)開発で構成される。

システム導入により、自社発電所におけるトラブルの早期復旧、発電停止時間の最小化への一助とする。具体的には、トラブル発生時の情報検索時間として、導入前後で1件当たり最大12.5分の短縮効果が実証されているという。

また、削減が難しい個人的な作業・対応につ

発生時に関連情報を素早く探し出すことにより、故障からの復旧を短時間で済ませることが必要となる。新システムでは、BPTIでは、BMemcoに蓄積したデータや過去のトラブルシューティングとLLMを組み合わせて、課題克服を支援する。大きく三つの機能があり、▽各プロセス値の検索性・保安記録検索機能▽ユーザーインターフェイス(UI)開発で構成される。

システム導入により、自社発電所におけるトラブルの早期復旧、発電停止時間の最小化への一助とする。具体的には、トラブル発生時の情報検索時間として、導入前後で1件当たり最大12.5分の短縮効果が実証されているという。

また、削減が難しい個人的な作業・対応につ

いても、情報共有がスムーズになり、運転員のスキルアップと技能の短縮を想定する。